

2026年度（令和8年度）

知床国立公園カムイワッカ地区利用適正化対策協議会 議事概要

1. 日 時：2026年5月21日（木）10：00～12：00
2. 場 所：斜里町産業会館 2階大ホール
3. 議 題：（1）役員改選について
（2）2025年度（令和7年度）の事業結果について
（3）2025年度（令和7年度）収支決算報告及び会計監査報告について
（4）2026年度（令和8年度）実施計画及び収支予算案について
（5）その他
4. 参加者：18名、詳細は出席者名簿を参照

司 会 環境省 竹中（副会長代理）

挨 拶 斜里町 塩（会長代理）

議 題

1. 役員改選について

－改選内容を－環境省ウトロ自然保護官事務所・伊藤より説明

◇質疑応答

- ・質疑なし。

2. 2025年度（令和7年度）の事業結果について

○資料2 2025年度 カムワッカ地区の運用状況と各事業の実施結果について

－全体運用状況及び湯の滝利活用促進事業を－斜里町・岩渕より説明

- ・促進事業の初年度として運用を行った。
- ・羅臼岳ヒグマ人身事故を受けて8/15・16の両日においてシャトルバス運行や湯ノ滝登り事業の中止なども行ったが、今までの知見を基に円滑な運営体制を構築できた。
- ・湯ノ滝登り事業においては、悪天候やヒグマ出没後の利用中止の影響もあり総利用人員は6,592人となり対前割れではあるが、ガイドツアー利用及びインバウンド比率は上昇している。
- ・受傷件数は増加しているが、ほぼ救急セットで対応可能な事案であった。

◇質疑応答

- ・受傷事例として深刻なものがあれば、共有と補足を求める。（知床財団・玉置氏）
→19Pの21の骨折・26の裂傷であるが、裂傷は自力歩行も可能な案件であり保険等の事後の対応も不要な事例であった。（斜里町・岩渕）
- ・21の事例を鑑みても入口に梯子を掛けるなどの安全性の改良を求める。（知床財団・玉置氏）
→改めて検討させて頂く。（斜里町・岩渕）

3. 2025年度（令和7年度）収支決算報告及び会計監査報告について

○資料3-1 ① 2025年度 カムイワッカ地区事業収支決算書－斜里町・岩渕より説明

- ・利用者減による収入減少やバス運行経費上昇の影響を受け、基金を取り崩して対応した。羅臼岳ヒグマ人身事故を受けての閉鎖により、運営委託費の一部に減少が発生した。

○資料3-1 ② 2025年度 カムイワッカ地区事業 事業安定化基金積立調書

－斜里町・岩渕より説明

- ・基金取り崩しにより、昨年度より¥2,012,778減額の¥2,989,440とした。

○資料3－2 2025年度 会計監査報告書

－自然公園財団知床支部・向山より説明

- ・各証拠書類に基づきいずれも適正に処理され収支決算報告書のとおりであったことを確認した。

◇質疑応答

- ・質疑なし。

(4) 2026年度（令和8年度）実施計画及び収支予算案について

○資料4－1① 2026年度 カムイワッカ湯の滝等利活用促進事業 計画（案）

資料4－1② 2026年度 年間事業スケジュール

－斜里町岩渕より説明

- ・今年度よりゲート位置が硫黄山登山道近くに変更となっている。
- ・2027年度までの第一フェーズ中間年度として昨年度の重点項目の進捗評価を行い、その結果を反映させた事業運営を実施する。
- ・2025年度は目標人員未達成だったが、閉鎖や悪天候の影響も受けたことから今年度目標人員は同じ8,000人とする。
- ・予約可能時間の見直しや減免制度の確立を行い、昨年度運営時に確認できた不備を是正する。
- ・開閉条件基準の更なる詳細化やヒグマ出没時の対応フロー策定化を基に運営を行う。今後も安全を第一に見直しや更新を行う。

○資料4－2① 2026年度 収支予算書（案）

資料4－2② 2026年度 事業安定化基金積立調書(案)

－斜里町岩渕より説明

- ・路線バス経路でもある増便バス運賃は、大幅な値上げとなっている。また、運行日数も増加することから予算額増加としている。また、利用者協力金の値上げを行い、悪天候等による運営日減少のリスクに備える事とする。また、シャトルバス運行日数減少等により事業費を減額としている。
- ・企画運営補助業務から現地補助員業務を分割して支出科目の変更を行っている。

○資料4－3 2026年度 道道公園線の工事について

－網走建設管理部・飛騨野より説明

- ・斜面の中段から下段の対応は完了したが、上部岩盤に将来的な落石の可能性があるので、ロープ掛け工事を行う。工期は契約前で未定だが、9月から開始の可能性もあるため、可能な限りカムイワッカ利用中止後の10月からとして交渉予定である。工事発注後に改めて情報提供予定である。
- ・霧双橋の補修工事を10月以降に行う。
- ・今年度は知床大橋の補修工事は行わない。

◇質疑応答

- ・共有情報として報告する。連休中などの五湖ゲート警備体制は例年通りである。

(自然公園財団・向山)

- ・もう少し付加価値をつけて、利用者協力金は更に高くしても良いのでは（知床財団・玉置氏）
→値上げに対して地域関係者の許容度向上は感じているが、第一フェーズ期間内での比較も考慮して値上げの検討は第二フェーズでの実施に御理解を願う。（斜里町役場・岩渕）

→第2フェーズにおいて、地域住民向け等の価格設定も検討願う。(知床財団・玉置氏)

- ・工期が9月からの可能性があるとの事だが、可能な限り10月以降への延期等、開始時期や関係施設設置において登山客への配慮をお願いしたい。また、モノレールに関して詳細を伺いたい。

(知床財団・玉置氏)

→工事箇所から麓の道路の間には3m高のリングネットがあるため、落石の危険性が無い尾根を利用して、資材運搬をする為のモノレール設置を林野庁より許可頂いた次第である。

(斜里出張所・飛騨野)

- ・ヒグマ対応フローの策定及び活用は望ましい。(環境省・竹中)

→午前の出没で終日閉鎖となる仕組みを改善して、安全が確認できた場合は午後からの再開を可能とするなど、安全を第一に利用者の増加に繋がる試行的な指針としたい。(斜里町役場・岩渕)

(5) その他

- ・アクセスコントロールとして対応すべき課題は、採算性やヒグマ対策及び二次交通など公園内全体とも関係するものであることから、親会である検討会議において適切な検討体制などを協議頂けることとなった事を共有させて頂く。(斜里町役場・岩渕)

→複層的な会議形態である現状やエリア毎の事業など、複雑に絡む諸問題へ対応可能な新たな体制が、第一フェーズ中に目処が立つことを期待する。(知床財団・秋葉)